



靴を売るシンデレラ

バウアー作 灰島かり訳 小学館

十六歳のジエナは、靴店の優秀なアルバイト。でも、普段は酒びたりの父さんや、アルツハイマー病のおばあちゃんのことから離れない。ある日ジエナは、老・女社長に働きぶりを見込まれ、夏の間、ドライバーとして雇われることになった。社長は、品質をなによりも大切にする人。だが息子は、商売人の誇りを忘れ、彼女を引退させようとしていた。ジエナは社長と共に、株主総会が行われるテキサスへと旅立つ。

物を売る才能のある女の子が、困難に立ち向かう術を見つける物語。

